

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）中間評価調査

都道府県名	石川県	事業実施主体	石川県、白山市	地域再生計画名	白山のめぐみを地域の活性化につなげる道整備計画
計画期間	令和4年度～令和8年度	評価責任者	石川県農林水産部森林管理課森林資源育成GL 三輪 拓也、白山市建設部長 窪田 浩之		

①地域再生計画に記載した 数値目標の実現状況	地域再生計画の目標			基準値		中間目標値		最終目標値		中間評価		達成状況		中間目標値の実現状況に関する評価			
	目標 1	観光交流の活性化 （年間観光入込客数の増加）	4,298 千人/年	R元	4,517 千人/年	R6	4,347 千人/年	4,608 千人/年	R8	△	指標 総数	達成 数	コロナ以前の水準に戻っていないものの、トレインパーク白山など新規施設へ繋がる市道米永松本線の完成もあり増加傾向にあり、今後整備を進めることにより目標達成の見込みである。				
			13,064 ㎡/年	R2	17,225 ㎡/年	R6	17,018 ㎡/年	20,000 ㎡/年	R8	△				3	1	林道整備により供給量が増加しており、目標達成の見込みである。	
			目標 3	企業誘致数 （事業所の増加）	389 事業所	R2	394 事業所	R6	424	400 事業所							R6
②事業の進捗状況		事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価										
				計画	中間年度 (R6)	最終実績 見込み											
特別措置を適用して行う 事業	市道整備事業（整備延長）		7.4km		4.3km		7.4km		計画延長の約6割の整備が完了しているが、残る事業についても事業の促進を図り、更なるアクセス改善や安全性の確保を図りたい。								
	林道整備事業（整備延長）		1.0km		413m		984m		整備延長からみる進捗率は、約41％と多少の遅れが伺えるが、計画に則した整備を目指す。								
	林道の保全対策（保全整備）		2箇所		1箇所		2箇所		橋梁の補修が1箇所完了し、安全に利用することが出来るようになった。引き続き、計画に則し橋梁の補修を行う。								
	林道の保全対策（点検診断）		49箇所		41箇所		49箇所		橋梁等の点検を行ない、安全管理上必要な情報が得られた。今後、必要に応じ補修を行い利用者の安全性を図りたい。								
その他の事業																	
計画外で独自に実施した 事業	白山ろく定住対策事業				白山ろく地域内で新築住宅を建築及び購入する方に100万円の奨励金を交付することや、居住し高校に通学している生徒の保護者へ通学費の一部を助成。		白山ろく地域定住促進奨励金は平成24年度の創設以降、一定数の利用があり、白山ろく地域から他への人口流出を食い止める一助となっている。また、高校通学費補助により、通学の移動に伴う負担を軽減しており、子育て世代の流出を防ぐ対策としている。										
	森林整備地域活動支援交付金事業				森林施業の集約化に必要な森林情報の収集、区域の明確化や森林経営計画策定へ向けた活動に対して支援を行う。（石川県支援事業）		森林整備を行うための、経営計画の策定や境界明確化に対し支援を行った。										
	森林環境整備事業				森林施業の集約化に必要な森林情報の収集、区域の明確化や森林経営計画策定へ向けた活動に対して支援を行う。（石川県支援事業）		林業生産活動等が継続的に実施できるよう、間伐等の森林整備に対し支援を行った。										
	工場立地助成金				市内での工場立地を促すため、用地取得や工場建設等に対して助成金を交付し、安定した税收の確保、市民の雇用機会の拡大を図る。		企業が工業団地に進出しやすいよう、立地する企業には継続的に支援を行った。										
	白峰重要伝統的建造物群保存地区保存整備事業				平成24年7月に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された白峰地区の歴史的まちなみを保存整備し、観光地としての魅力アップにつなげる。		白山市白峰地区の活性化を図るため、重要伝統的建造物群保存地区を核とした地域資源を活用し、来訪者をまちなかへ誘導するまちづくりとして、石積水路整備、ポケットパーク整備、コイトイレ建設及び電線類地中化などを実施し、引き続き景観舗装を実施することとしている。										
③評価方法		白山市地域再生計画中間評価委員会を開催し、中間目標値の実現状況に関する評価・検討等を行った。															
④中間評価の公表方法		白山市土木課のホームページに記載															
⑤計画全体の総合評価		本地域再生整備計画では、道整備交付金を活用した市道整備と林道整備を一体的に行うことにより、効率的かつ効果的に観光振興、交流人口の拡大、観光入り込み客数の増加や間伐材供給量の増加といった効果が期待できる。また、市内全体の観光施設や、工場へのアクセス道路、橋梁といった重要構造物を適切に維持・管理を進めることで物流輸送の集積が安定し、新たな産業の創出や企業誘致数の推進が見込まれる。各事業を総合的に進めることで、中間目標を下回っている観光入込数などの目標値の増加に繋がっていく必要がある。															
⑥今後の方針等	中間評価結果の反映状況						有りの場合その具体的内容										
	地域再生計画の見直し（有・無）																
	令和8年度予算要望額への反映（有・無） 有りの場合の増減額 千円																
⑦今後の方針等に対する対応																	